

しんぶん つむぐ

『筋ぐ』

2022.9.1 第47号
発行 教育相談室「あした塾」

さうなる? 学校統合に

穴水町は穴水・向洋両小学校の統合に関して、保護者や地域住民に対する説明会を行なって回を行なきました。しかし、当然のことながら穴水小学校以下、向洋小学校以下では、その間には大きな温差差があります。学校が一つになるとことへの影響を想像してみてください。とても大きな問題なのです。残念ながら、統合に関する検討委員会の議論ばかりとなされたことは言いたく、教全会議一度も出席せなかた委員もいたようです。さらに、説明会に一度も参加せなかた委員もいます。他所のことではないのです。無責任のものは免めないとします。



吉村光輝町長は「説明責任はしっかりと果たしていく」と話していますが、保護者・住民の声をしっかり受け止め、保護者・住民に寄り添った対応を願いたいものです。

月中筋走日記

なぜおひこ? 8月17日、能登地方は大雨。穴水町も宇留地地内を川の氾濫。床上・床下浸水も。門前・穴木には避難指示が出され全国ニュースに取り、県外から配信する声が届きました。ところが、その最中、町の防災放送は「熱中症に注意を」と…。“お、おかしくない!?”の声があちこちであがけました。いろいろな情報はテレビでしかなかった。

秋です



駅前めぐりの途中、能登駅に寄りました。下道は四季折々の素晴らしい風景を見せてくれます。この日は下道湘州川で秋を感じました。

□ 9月議会・一般質問は?

9月議会が始まります。「一般質問なんぞ、何の役にも立たん。あんまりバカヤマヌケ、口と言ひ放す議員がいる。何を考えとんのや!」との声が。

これ議員さん、「議員必携」を読んでほいんですかね? でも、この議員も町民が選んでいるんです。



町民の責任? さて、来秋は統一地方選挙ですね…。(駅前めぐり)

宍戸再発見の旅

懐かしの駅めぐり

8月23日(火)

今年度最終回



(甲駅の待合所)

父譲「旧能登線・難駅めぐり」が実施されました。町内外から13名(当初予定16名)が参加し、「碓氷人の愛称があつ、痕跡をたどりながら、時の流れをあわためて感じる時間を感じさせ」。参加した皆さんには多謝ごとに百年木を確認したり、待合所をのぞきこんだり写真撮影なり。用意されたパンフレットのXを開くには次と書き込まれ…。

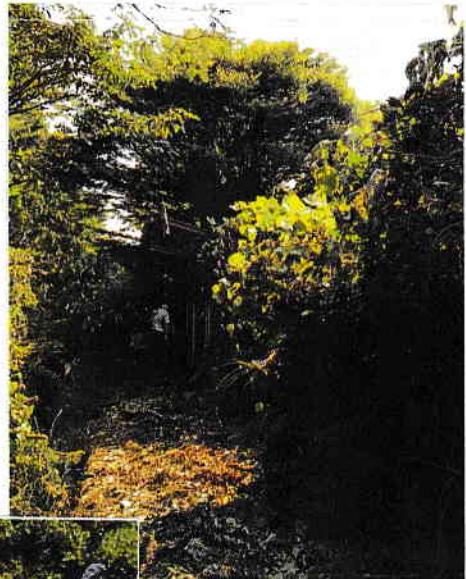
中居駅

は地域の人たちが、ホームや線路跡の

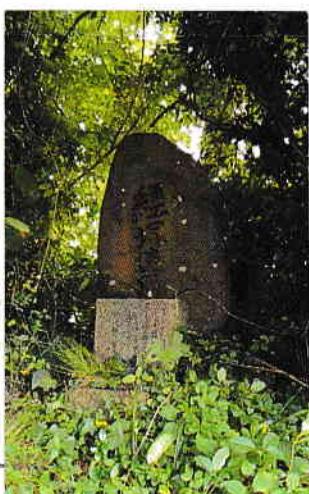
草刈などをして、いつもきれいに整備されています。春の桜の風景とともに素晴らしい「汽車が走っている頃の桜と汽車の風景」が想像され、しかも、その当時の写真を持っているいぬねあへといふ声も聽かれました。

古君駅

では、現職時、「ひと鉄道」に勤めたことがある明治寺の星野清一さんから、前波駅や古君駅にかかるエピソードや1日国鉄能登鉄道脱線事故の話などを聞きました。実は、この古君駅、ホームへの入口もわからなくなっている荒れ地ですが、このヤードの前に星野さんが人の通れるくらいに草刈をしてくれています。百年木の表示杭も立っています。(文庫は劣化して読みづらくなっています。)



甲駅では新しい発見が…



甲駅の桜も素晴らしいです。その木のすぐそばに、なんと、「経場遺跡」という



(秋境駅の名に相応しい(?)草木の中の古君駅)

石碑があります。これは何!? 調べて見る必要あります。地元の人たちも知らないようです。宍戸町には、このように時代とともに埋もれてしまっている宝物がいっぱいあります。町の方に生き残い手はありません。今回ハツアドに参加した人が、「このハツアドこそ「宍戸再発見に相応しい」という声だ…。

次号に今後数回のツアーハガキを載せます。また今回のツアーハガキの写真展を開催する予定です。